

ステークホルダーとの信頼醸成

企業倫理・コンプライアンス

高い企業倫理の醸成

当社グループは、社会から信頼・共感されるためには、従業員一人ひとりが高い倫理観を持って公正かつ誠実に行動することが重要と考えています。この考えのもと、2008年に初版が発行され、改定を重ねてきた「太平洋工業グループ行動ガイドライン」を全従業員に周知し、意識の向上を図っています。海外では、グループ各社が「太平洋工業グループ行動ガイドライン」に各国・地域の法令・慣習を反映した自国の行動ガイドラインを運用し、各国・地域に適したコンプライアンス活動を行っています。

啓発・教育では、階層別教育、専門教育に加え、身近なテーマを取り上げて解説するメルマガを定期配信するなど、従業員に対する各種教育・啓発活動を継続的に実施し、不正・不祥事の未然防止を図っています。

また、当社グループは、行動ガイドラインの浸透状況やコンプライアンス上の問題を調査するため、海外会社を含め従業員にアンケート調査を行い、問題の早期発見・解決・再発防止などの改善策を行っています。さらに、アンケートでは抽出することができない不正・不祥事を特定し是正するため、メール・電話・郵送・文書などで通報・相談できる内部通報制度を設けています。たとえば「独立相談窓口」を設置し、非業務執行取締役を窓口に、経営者層から独立した通報制度を設けています。コンプライアンス規定においては、通報・相談者の氏名の秘匿性確保、通報・相談を理由とする不利益な取り扱い禁止などが定められており、安心して利用できる制度となっています。

腐敗防止

2020年に贈収賄防止基本方針として、「贈収賄・腐敗防止の基本方針」を制定し、業務代行者等の第三者との契約条項に織り込むなど、腐敗防止ルールを整備するとともに、eラーニングを活用し、従業員への啓発・教育を行っています。

また仕入先に対しても「仕入先サステナビリティガイドライン」を展開し、サプライチェーンにおいても贈収賄・腐敗防止を徹底しています。

太平洋工業グループ 行動ガイドライン 概要

1 基本原則

- (1) 法令、倫理などの遵守
- (2) サステナビリティを基盤とした事業活動

2 安全・品質

- (1) 職場の安全衛生
- (2) 品質の向上
- (3) お客様の満足度向上

3 人権尊重・労働環境

- (1) 人権尊重・差別禁止
- (2) ハラスメント
- (3) 強制労働・児童労働の禁止
- (4) 働きやすい職場環境の整備・充実
- (5) ダイバーシティ・インクルージョンの推進
- (6) 従業員との対話・協議、結社の自由
- (7) 人材育成の推進
- (8) 土地収奪の禁止

4 誠実・公正な事業活動

- (1) 政治・行政との健全な関係づくり、腐敗防止
- (2) 責任ある資源・原材料調達
- (3) サステナビリティ調達の実施
- (4) 適正な許認可、届け出手続き
- (5) 反社会的勢力との関係断絶
- (6) 輸出・輸入関連法令の遵守
- (7) 仕入先との適正取引
- (8) 下請法の遵守
- (9) 競争法(独占禁止法)の遵守

- (10) 接待・贈答

- (11) 正しい会計・税務処理
- (12) 知的財産権の保護
- (13) 機密情報の管理
- (14) 個人情報保護
- (15) 情報システムの正しい使用
- (16) ステークホルダーへの情報開示と広報活動
- (17) 災害時の行動

5 倫理的行動

- (1) インサイダー取引の禁止
- (2) 社印の適正な使用
- (3) 交通ルールなどの遵守
- (4) 職場の規律
- (5) 利益相反行為の禁止
- (6) 会社資産の正しい使用

6 環境

- (1) 環境マネジメント
- (2) 気候変動の緩和と適応
- (3) 循環型社会の追求
- (4) 水資源の保全
- (5) 生物多様性の保全
- (6) 汚染の防止
- (7) 化学物質の管理

7 社会貢献

- (1) 社会貢献
- (2) 各国の地域社会との相互信頼

ステークホルダーとの信頼醸成

責任ある調達

公正な取引のために

当社は、政府および経済団体、労働団体などが参画する「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」の趣旨に賛同し、2022年4月に「パートナーシップ構築宣言」を公表しました。本宣言に則り、仕入先との良好なパートナーシップに基づいた長期的な共存共栄の実現をめざしています。こうした考えは、「調達基本方針」として明文化し、当社Webサイトで公開しています。

また、当社の主要仕入先に対しては、「会社方針説明会」を年に2回開催し、方針や事業の課題を共有するとともに、評価制度を導入し、年に1回優秀な仕入先を表彰するなど、パートナーシップの強化に努めています。

仕入先との各種取り組み

「太平洋グローバル会」は、当社の主要仕入先33社で構成する団体で、経営基盤の強化、ものづくり力の向上を図ることを目的とし、工場見学会、安全・品質向上活動、各種勉強会などを共同で実施しています。2024年度も、Webを活用した安全・品質の研鑽会を通じ、各社のレベルアップを図りました。

サステナビリティ研究部会などでSDGs（人権など）、カーボンニュートラルおよび生物多様性・健康経営に関する勉強会をオンラインで実施しました。また、主要仕入先に対し、訪問・Webでの面談を通じ、さまざまな経営課題と対策状況を共有するとともに、公的な補助金に関する支援情報についても周知に努めています。さらには、サイバーセキュリティ相談を実施し、仕入先と一体になったセキュリティ対策を推進しています。



太平洋グローバル会総会



オンライン勉強会

サステナビリティ調達

当社は、サプライチェーン全体でサステナビリティ推進をめざし、「仕入先サステナビリティガイドライン」を制定しています。コンプライアンス・腐敗防止、人権・労働・環境・品質・安全、情報セキュリティ、事業継続、社会貢献などの課題に対し、仕入先に推進活動を依頼しています。

また、ガイドラインのさらなる周知と遵守状況の確認を目的に、当社調達額全体の80%以上となる仕入先に対してアンケート調査（自己チェック）を実施しているほか、併せて「仕入先サステナビリティガイドライン」遵守の承諾書に署名いただいています（国内の平均遵守率は約93%（2024年度実施）、海外会社（11社中8社）では平均遵守率約92%（2024年度実施））。

環境物質調査については、JAPIA統一データシートによる納入品の物質調査を行っています。また、「グリーン調達ガイドライン」を発行し、環境に配慮した技術や製品の調達を推進しています。

紛争鉱物問題については、調査ツールとして「責任ある鉱物イニシアティブ（RMI）」が発行する「コンフリクト・ミネラル・レポート・テンプレート（CMRT）」および「エクステンデッド・ミネラル・レポート・テンプレート（EMRT）」を使用し調査しています。

なお下請法遵守に関しては、経済産業省がWebで実施している「適正取引講習会下請法基礎編」を、昨年度に引き続き、調達部門を含む全社の管理職と関係スタッフ567名が受講しました。

当社は、企業倫理の徹底とステークホルダーの信頼確保のため、社内外からの通報・相談を受け付ける「倫理・苦情相談窓口」を設置し、当社Webサイトに明示しています。

今後も当社は継続して仕入先とのコミュニケーションを深め、顕在化した各仕入先の課題についてはレベルアップをお願いするとともに、課題解決に向けた支援を行うなど責任あるサステナビリティ調達に取り組んでいきます。

ステークホルダーとの信頼醸成

顧客満足度の向上

世界No.1をめざしたこだわりのものづくりを推進

当社グループは、人づくりこそがものづくりの基盤であると認識し、太平洋工業のものづくりDNAの継承と、さらなる進化に向けた原価低減に取り組んでいます。トヨタ生産方式によるものづくりを推進し、現地・現物・現認で、「カイゼン活動」をグループ全体で実施しています。

表彰制度の自主的な導入による品質向上、若い世代への技能伝承の推進など、各拠点での主体的な取り組みが進んでいます。

また、トヨタ生産方式自主研究会活動を通じて、生産技術力と現場力強化を推進し、人財の問題解決力を高め、画期的な工程改善による従来のものづくりからの脱却を進めています。2025年度も活動を通して強化されたカイゼン力をベースに高品質とコスト競争力向上をめざし、生産基盤の強化を進めています。

このように、グローバルでこだわりのものづくりを進めた結果、海外でも、日系メーカーのみならず、海外メーカーからも品質や原価、納期などの面で、高い評価を受けており、2024年度はグローバルで18件の表彰をお客様から受賞しました。

お客様第一、品質第一

当社は、お客様に満足していただける製品を提供するため、後工程に不良品を流さない「自工程完結」を基本とし、設計・生産準備の段階から各工程で品質を造り込み、グローバル基準の品質保証体制の構築に取り組んでいます。

その他にも、将来の不具合を未然に防ぐためのグローバルな品質改善活動「START」や、お客様（エンドユーザー）のニーズと提供価値のギャップを認識し、品質基準の適正化を図るSSA (Smart Standard Activity：品質・性能基準適正化活動)に継続して取り組んでいます。

生産準備段階から、CAE解析を繰り返し、作りやすい形状をお客様へ提案しています。社内では成形余裕度検証を実施し、完成度の高い工程づくりを製品ごとに実施しています。量産開始後も成形性の傾向管理や精度傾向管理を実施できる環境を整備し、不具合品が流出しない体制を構築しています。不良品を作れない工程、不良品が流れない工程をめざし、技術部門と製造部門が一体となって安定品質の製品づくりを進めていることに加え、社内で異常品が発見された際も「Bad News First」のスローガンに基づき、直ちに役員まで情報が上がる風土を醸成しています。

SSAにおいては2021年より「寄添い活動」が加えられ、主要顧客であるトヨタ自動車に当社の仕入先の困りごとに対しても積極的に耳を傾けていただけることになり、数多くの効果を上げている貴重な活動の

柱になっています。最近では、海外拠点にも活動を拡大し、適正品質の見直しを進めています。

また、品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」を国内全事業所で認証取得し、開発から生産に至るまでの一貫した品質保証体制を強固なものにしています。

CSの向上

当社では、営業部や品質保証部がお客様から収集した情報をもとに継続的改善に努めるとともに、お客様からの期待やニーズにお応えするためのCS (Customer Satisfaction) 向上に取り組んでいます。当社の新製品・新技術・新工法などをお客様にご紹介する「技術展示会」や「技術プレゼン」等も国内外で実施しています。お客様の関心の高いSDGsやCO2削減に寄与する製品にも力を入れて提案しています。

なお、お客様からの要請で、CDPのサプライヤープログラムに参加しているほか、グローバルなサプライヤー向けCSR評価機関であるEcoVadisの評価を受けており、2024年ブロンズメダルを取得しました。

お客様からの表彰(2024年度)

受賞会社		表彰者	受賞・賞賛内容	分類
日本	PIC	日産自動車	Global Quality Award (TPMS送信機)	品質
日本	PIC	トヨタ自動車	原価改善優秀賞	原価
日本	PIC	トヨタ自動車	環境推進優良賞	環境
日本	PIC	トヨタ自動車東日本	品質管理賞	品質
中国	TPA	广汽トヨタ自動車	品質協力賞	品質
タイ	PIT	Toyota Motor Asia	原価低減優良賞	原価
中国	PTC	广汽トヨタ自動車	原価協力賞	原価
米国	PMO	American Honda Motor	Supplier Performance Award	品質
台湾	PVT	國瑞汽車	品質優秀賞	品質
台湾	PVT	國瑞汽車	SSA推進優良賞	品質
台湾	PVT	國瑞汽車	START活動感謝状	総合
日本	PIC	ダイハツ工業	品質改善活動賞	品質
米国	SPU	General Motors	サプライヤー品質優秀賞	品質
日本	PIC	トヨタ車体	特別賞	総合
韓国	PVI	PT.TD AUTOMOTIVE COMPRESSOR INDONESIA	改善活動最優秀サプライヤー賞	品質
韓国	PVI	PT.TD AUTOMOTIVE COMPRESSOR INDONESIA	サプライヤー監査賞	総合
日本	PIC	トヨタ自動車	品質向上活動努力賞	品質
米国	PMT,PMO	Toyota Motor North America	品質優良賞	品質

※略称はP3参照

ステークホルダーとの信頼醸成

地域社会の発展

地域社会貢献の考え方

私たちが事業活動を行う各地域が発展し、私たちとともに成長するためには、地域社会への理解と貢献が欠かせません。

地域社会との密接な連携と協調を図り、地域社会の持続的発展に貢献するとともに、さまざまな社会貢献活動(学術・文化・スポーツ支援、ボランティア活動参加支援、国際社会貢献、生物多様性保全活動など)を行い、地域社会との絆を築きます。

次世代育成



小川科学技術財団による助成

当社の創業者故小川宗一が創設した(公財)小川科学技術財団は、2024年度は28件総額1,662万6千円の助成を行いました。



科学大好きセミナーを開催

2024年8月、再生可能エネルギーの利用体験として、小学生向けに科学セミナーを開催しました。ペットボトルで作ったプロペラによる風力発電で模型のクルマを走らせ、風力発電の仕組みを学んでいただきました。



高校生にSDGsワークショップを実施

「SB Student Ambassador」地域ブロック 東海大会で、東海地方4県26校200名超の高校生に向けてSDGsワークショップを行いました。



「Out of KidZania in おおがき」に出展

2024年11月に2日間開催された「Out of KidZania in おおがき」に出展しました。当社ブースで約40人の小中学生が品質検査の仕事を体験しました。今後も地域のキャリア教育に貢献していきます。



小学生の社会科学習会を開催

近隣小学校の学習会を工場にて受け入れました。設備ごとに担当者が工程の説明を行い、ものづくりに対する興味と理解を深めていただきました。



小学校の職業体験学習活動を支援

大垣市内の小学校の職業体験学習活動を支援しました。授業では、家庭での電気使用量を計算することで、日々の暮らしでどれくらい環境に影響を与えるかなどを実感していただきました。

生物多様性



太平洋里山の森でイベント開催

太平洋里山の森において、樹木医を迎えて、「木のお医者さんと一緒に「木」のことを親子で学ぶ」イベントを開催し、森の恵みと生物多様性の重要性を従業員が親子で学びました。



タイPIT社 マングローブ800本を植樹

2025年3月、PIT従業員とその家族計105名がPITの近郊にある森林にマングローブ800本を植樹しました。また、苗木の栽培も昨年からの継続して実施しました。



岐阜県と連携し、ぎふ木遊館で木とのふれあい体験を開催

2024年度は、ぎふ木遊館で2回、当社社員とその家族約100名が、木工体験や環境クイズラリーなどを通して、森林保全の大切さなどを学びました。



岐阜地球環境塾

海津市において小学生とその保護者を対象に、クルマのカーボンニュートラルやライフサイクルで温室効果ガスの削減の必要性について、理解を深める環境教育を行いました。

ステークホルダーとの信頼醸成

地域社会の発展

スポーツ振興



©Kaz Photography/FC 岐阜

FC岐阜

当社は、日本サッカーリーグJ3に所属するFC岐阜を、トップパートナーとして応援しています。2024年7月には「太平洋工業サックスマッチ」を開催しました。



ラグビー トヨタヴェルブリッツ

当社がパートナーとして応援しているラグビーチームトヨタヴェルブリッツの試合に、岐阜県内高校のラグビー部やラグビー少年団の親子を招待しました。

地域貢献



エココスター作りのワークショップを開催

2024年9月、ショッピングモールにて、ウレタン廃材を再利用したチップブロックを使用した、エココスター作りのワークショップを開催し、100名を超える方に参加いただきました。



フードドライブを実施

「2024フードドライブ GIFU」に賛同し、従業員の協力で集まった未利用の食品品やペットフードを寄付しました。



GIFUNITEの活動に参加

県内のトップスポーツ団体でつくる「ギフユナイト」に、当社ソフトテニス部も参画し、子どもたちに運動の楽しさを教え、競技力の向上や未来のトップアスリート育成を図っています。



大垣ミナモソフトボールクラブ

11社の支援企業を中心に運営され、当社の従業員2名も選手・マネージャーとして所属しています。また、当社の事業拠点があるフランスのリーグに技術面と資金面で支援しています。

グローバル



韓国PVI 社会福祉法人の清掃活動・子どもたちと交流

PVIの従業員が社会福祉法人を訪問し、施設の清掃活動や子どもたちとのふれあいの時間を過ごしました。



タイPIT 近隣小学校に校庭内通路の屋根を寄贈

ラヨーン工場近隣の小学校へ72mの校舎内通路の屋根を寄贈し、完成セレモニーでは子どもたちよりムエタイダンスを披露いただきました。

復興支援・防災



防災マットを大垣市内全小学校へ納品

大垣市内全19小学校と大野町の全中学校8校へ当社「MATOMAT」計10,000枚を納品しました。普段は椅子のクッションとして使い、災害時はつなげてマットとして活用できます。防災に関する学習機会の提供にもつなげていきます。



石川県七尾市などに防災マットを寄贈

能登半島地震の被災地である石川県の七尾市などに、復興支援の一環として防災マット「MATOMAT」約6,000枚を寄贈しました。



米国PMT 子どもたちにクリスマスプレゼント贈呈

子どもたちのメッセージカードに書かれたプレゼントを贈るエンゼルツリーのイベントが行われ、従業員から175個のプレゼントが集まり、子どもたちの願いを叶えることができました。



タイPIT 近隣小学校に自転車など寄贈

タイの子どもの日にあたる1月の第2土曜日に、近隣小学校10校へ自転車やスポーツ用品などを寄贈しました。